

【報道資料 2020年12月16日】

一般社団法人日本実業団陸上競技連合

ニューイヤー駅伝 in ぐんま 第65回全日本実業団対抗駅伝競走大会

新型コロナウイルス感染症対応策 概要

(詳細版「ガイドライン第4版」は、12月18日ごろに公表予定)

(当連合が主催したプリンセス駅伝、クイーンズ駅伝で運用した「ガイドライン第2版」「同第3版」は連合HPの各大会ページにて掲載)

(※ニューイヤー駅伝大会要項の【はじめに】でも感染症への対応策を記載しております。ご参照ください)

■スタート・フィニッシュ地点、コース沿道での応援・観戦の自粛を呼びかけ

出場チーム企業による現地での応援を自粛する。

出場チームは、エントリー時点(11月27日(金)締め切り)で「応援自粛協力への同意書」を提出している。

当日、現地での応援行為が確認されたチームにはペナルティーを科す。

(10月18日の「プリンセス駅伝」、11月22日の「クイーンズ駅伝」でも、出場チームすべてから同意書が提出され、いずれの大会でも当日の違反行為は確認されなかった。両大会とも、地域の方々の協力があり、コース沿道で「3密」状態を防ぐことができた)

■群馬県庁、各市役所での歓迎おもてなしイベントを中止

開催地の地域の方々、一般の駅伝ファンの皆さんにも、現地での観戦・応援を控えていただくよう協力をお願いいたします。例年、スタート・フィニッシュの群馬県庁前に観戦用のスタンド（約640席）を仮設していましたが、今大会は設置しません。また、群馬県庁の内外、中継所の各市役所周辺での歓迎おもてなしイベントは実施しません。

群馬県庁、各市役所では大会関係者以外は立ち入り禁止となる規制エリアがありますので、一般来庁者にご注意願います。群馬県庁本庁舎では、大会関係者と一般の方たちが交差しないよう、大会関係者用の出入り口・通路と、一般来庁者の展望階・レストラン利用者用の出入り口・通路を区分します。一般来庁者は例年のように県庁舎正面玄関からの入退場はできませんので、ご注意願います。

■チェックシートによる体調管理の徹底

大会にかかわるすべての関係者は、大会前1週間（12月25日(金)～31日(木)）、大会当日の検温をはじめとする12項目のチェックなどを通して体調管理に万全を期す。

大会直前に発熱などの体調不良が確認された場合、群馬県外者は群馬への移動を控え、群馬県内在住者は競技会場への来場を見合わせる。

大会終了後2週間（1月2日(土)～1月15日(金)）も体調を経過観察する。

（9月の全日本実業団対抗選手権大会、10月のプリンセス駅伝、11月のクイーンズ駅伝と

も、事前の周知徹底により、体調不良者が競技会場に来ることはありませんでした)

■競技会場への発熱者、体調不良者の入場を禁止

体温「37・5℃」以上の発熱がある人たちや体調不良者が競技会場エリアに入場することを禁じる。当日朝の検温で「37・5℃」未満だった選手はじめ大会関係者には「検温ずみシール」を各人のIDカードに貼付する。各中継所への選手輸送バス乗車時に選手と付き添い者に検温を実施する。

競技会場では、競技中の選手以外は必ずマスクを着用し、こまめな手指の消毒、手洗い、せきエチケットを励行する。

■「3密」を回避した会場設営、大会運営

スタート・フィニッシュ地点、中継所への入場者をIDカードコントロールによって制限する。出場チームへのIDカードの発行枚数も上限（1チームあたり22枚、うち「監督・コーチ・選手」用を上限16枚）を設け、総数を抑制する。

表彰式は、例年の出場全チームのエントリー者全員が参加する方式をとりやめ、式典進行を簡素化・短時間化する。一部表彰の手順を省略し、賞状・副賞の授与を省いて、後日、各チームあてに送付。式典での表彰対象者を、優勝、2位、3位の各チームと区間賞受賞者に限るなど、少人数化を図る。贈呈側の出席者数も最小限に抑え、出席者全員がマスクを着用する。

■更衣室の適正利用による「3密」防止

スタート地点、並びに各中継所の更衣室の利用に際しては、出場する選手以外では付き添い1名のみでの入室を認める。利用も短時間ですませ、更衣室内が「3密」状態になることを避ける。

■計時チップとアスリートビブスはチーム単位で後日回収

計時チップが装着されているアスリートビブス（ナンバーカード、ゼッケン）は、チーム単位で後日、まとめて計時を担当するシチズンTICに返送する。

（例年は、中継所、フィニッシュ地点で競技補助員など大会スタッフが選手ユニフォームから取り外し、チームが表彰式前にまとめて返却していたが、今回は、取り外しもチームで行い、大会会場での直接回収はしない）

■取材申し込みはすべて事前申請制

取材記者用ワーキングスペースのプレスセンター（群馬県庁昭和庁舎2階）の「3密」状態をあらかじめ避けるため、取材申し込みはすべて事前申請制とする。1社あたりの上限を設け、来場者の総数を抑制する。

（詳細は「取材要項」をご覧ください）

■大会前々日の選手記者会見と当日の優勝チーム記者会見をオンライン化

注目選手を対象とした前々日（12月30日）の記者会見と、大会当日の優勝チ

ームを対象とした記者会見は、オンライン会議方式で実施する。2、3位のチームへの取材は、表彰式終了後、表彰式会場（群馬県庁1階県民ホール）で十分な社会的距離（ソーシャルディスタンス）を確保し、取材側、選手・監督側もマスク着用で実施する。

■オンライン会議を活用した大会準備

大勢の関係者が実際に集まる会議、打ち合わせ等はリアル方式での開催を可能な限り控え、オンライン会議等を活用して準備を進める。実際に集まる場合は、「3密」回避を徹底する。